

2023.8.17



地域日本語支援ニュース こだま 第434号

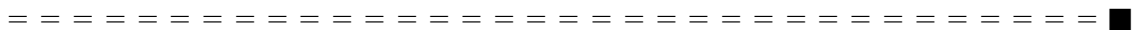
ともに生きる
～地域で、日本で、そして世界で～



★—— メールマガジンをお読みいただき、ありがとうございます。——★
【地域日本語支援ニュース 「こだま」】は、日本語教育に関する事業を全国で行っている公益社団法人国際日本語普及協会（AJALT）発行のメールマガジンです。各地域で在住外国人に対する日本語・生活支援に携わっている方々に役立つ情報の共有を目指していきます。

★—— 皆様からのご意見、ご感想をお待ちしています。——★

編集部：<https://www.ajalt.org/local/soudan/contact.html>



■防災特集■

日本は世界各国に比べて、自然災害が多いと言われています。今年7月にも、全国各地で記録的な大雨の被害を受けたことは記憶に新しいでしょう。また、世界中で起きたマグニチュード6以上の地震の18.5%が日本で起こり、全世界の活火山の7.1%が日本にあるのだそうです※。このように、災害大国とも言われる日本ですが、国が変われば災害時の行動や心構えも異なります。今号では、日本に住むベトナム、ミャンマー、ペルー、アフガニスタンの皆さんに、お国での災害の様子を語っていただきました。

※（国土技術研究センター HP より）



お国が変われば…
災害から身を守るためにできること

◆ベトナムの気候と台風シーズン

ベトナムは亜熱帯気候の国ですから、ベトナムの気候は結構暑いですが。夏と冬は気候が極端にちがいます。冬は10℃くらいでもとても寒く感じます。水牛は寒さで死んでしまうこともあります。

毎年12～17個の台風が来ます。台風の際は、とても強い風が吹きます。そして、たくさん雨が降ります。雨具はカッパを使います。非常食は1週間～2週間分用意したほうがいいです。非常食は袋のラーメンです。中部の山の近くの観光は、9月～12月をさけて来てください。

タン、ズン、ルアン（ベトナム）

◆ミャンマーを襲うサイクロン

ミャンマーの気候は、山の方は穏やかで、海の方が暑いです。雨季は5月中旬から8月下旬までです。雨季のときは、海の方に大きいサイクロンがきて、洪水が起きます。サイクロンや洪水のときは、山の上などの安全な場所に上ります。公園やお寺に避難します。教会やお寺には、水や食べ物がないので、近くの人が持ってきてくれます。山の果物やお米や野菜を持ってきてくれます。おばあさんたちが100人分くらい料理を作ってくれます。

今年5月14日に大きいサイクロン「モカ」が来しました。一日で通り過ぎましたが、家がたくさんこわれました。家がこわれたとき、しんせきなどのボランティアの人が手伝ってくれます。サイクロンのときは天気予報をみて、出かけないようにします。 トン、ルン、ボクサン（ミャンマー）

※編集部注

今年5月14日に発生したサイクロン「モカ」は、バングラデシュのコックスバザールと、ミャンマーのラカイン州沿岸部を直撃し、甚大な被害をもたらしました。コックスバザールには、多くのロヒンギャ難民が生活する難民キャンプがあり、ミャンマーでは2021年のクーデター以降情勢不安が続いている中での被災でした。国際的な援助の手が届かないことが心配されています。

◆ペルーでは地震の時は屋外へ

日本では地震が来たらどうするのか小学生の頃から学び訓練もしていたので身につけていますね。まずは机の下に隠れます。頭を守るためですね。ペルーでは、外に飛び出します。建物の作りが違うからです。屋内にいることは危険です。

爆発音についての注意は受けていました。わたしがペルーにいた当時は1980年代ですが、小学生の頃、治安が不安定だったころには町中での爆発や危険な音に対しての構えを学びました。町中で突然大きな音が聞こえたら皆さ

んはどうしますか。ペルーでは次のように教えられます。

- 1 急いで音のした方向から離れる
- 2 身を伏せる
- 3 耳をふさぐ
- 4 口を開ける

耳をふさぎ、口を大きく開けるのは鼓膜を守るためです。爆発音がしたら次に続いて危険なことが起きる可能性が大きいのでその場から離れます。日本の方はどのくらいご存知でしょうか。(現在のペルーの小学校はどうかは、わかりません。)

アンヘル (ペルー)

※編集部注

ペルーは、1980年に軍事政権から民政移管し、その後経済成長の失速と、テロ組織による社会混乱に苦しめられました。その後、1990年代のフジモリ政権の時期に国政が安定化しました。

◆アフガニスタンの砂嵐 (すなあらし)

アフガニスタンは冬は雨が降りますが、夏は降らないので、洪水などもないです。夏は乾燥していて嵐の時には砂が舞って砂嵐になり、長いときは40分くらい家の中でじっとしています。首都のカブールは、以前は道路が舗装されていたので砂嵐はなかったのですが、現在は舗装がとれているので、砂嵐がひどいです。カンダハールのほうは砂嵐がもっとひどいです。地震の避難訓練は小学校ではしませんが、大学などの大きな施設は非常口からの避難訓練をします。 在日留学生 (アフガニスタン)

※編集部注

2022年にアフガニスタンのカブールから来日した留学生のコメントです。アフガニスタンでは、2022年6月にマグニチュード6.0、2023年3月にマグニチュード6.5の地震が発生していますが、耐震性の低い建物が多く、倒壊した家屋の下敷きになった人が多くいました。アフガニスタンでは、2021年8月にタリバンが権力を掌握した後、国際社会からの支援が滞り、経済が悪化しています。現在の不安定な国情を考えると、国民の皆様の安全を祈るばかりです。

.....

一言で「災害」と言っても、それぞれの国がおかれた状況によって、気をつけるべきことが大きく異なることがわかりますね。9月1日は「防災の日」で

すが、この機会に皆さんも、周囲の外国籍の方たちに、お国の災害事情について聞いてみませんか。